

助平とは何かの問に対して現在最も有力なのは粒子開放説であります。これは我々が助平な事を体験した時、頭の中から助平の粒子が物理的に放出されるとゆうものです。そしてその説が発表された当時は同じ対象において何度も助平を体験する時、それに割りあてられた粒子はそのつど半減していくと考えられていました。この粒子開放の減少が、いわゆる「飽きる」とゆう事であると説明されていたのです。ところが一九五九年のワイマール性科学研究所の実験結果は粒子減量説の根本的見直しを要求しました。性的興奮度と放出される粒子の量は多くの場合一致せず、どんな時でもその開放量は一定だったのです。



助平とはどおゆう事か

## 粒子開放量一定説

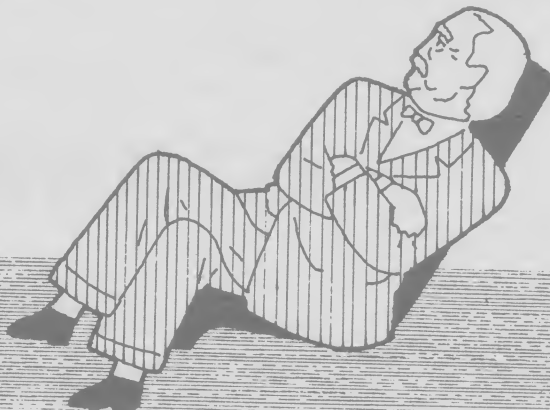
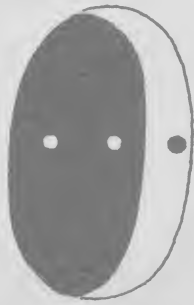
ひさうちみちお

減量説に代って登上した仮説は  
粒子の他にもう一つ重要な概念  
を導入しました。  
穴です。

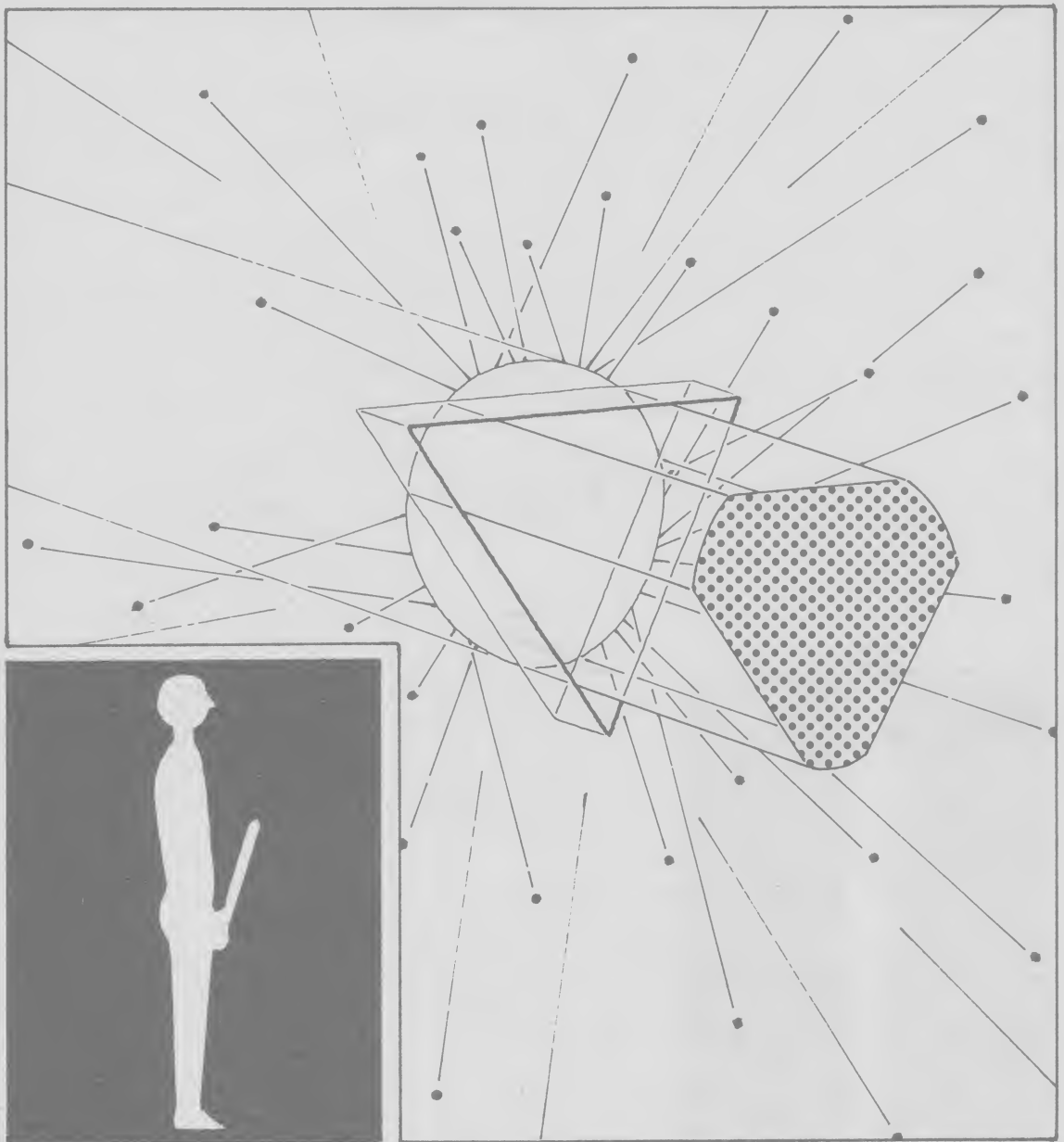
粒子開放量は常に一定であると  
いう実験結果が発表された頃、  
今出川雄太郎は、粒子が外へ放  
出されるには穴が必要なのでは  
ないかと考えていました。

今出川雄太郎

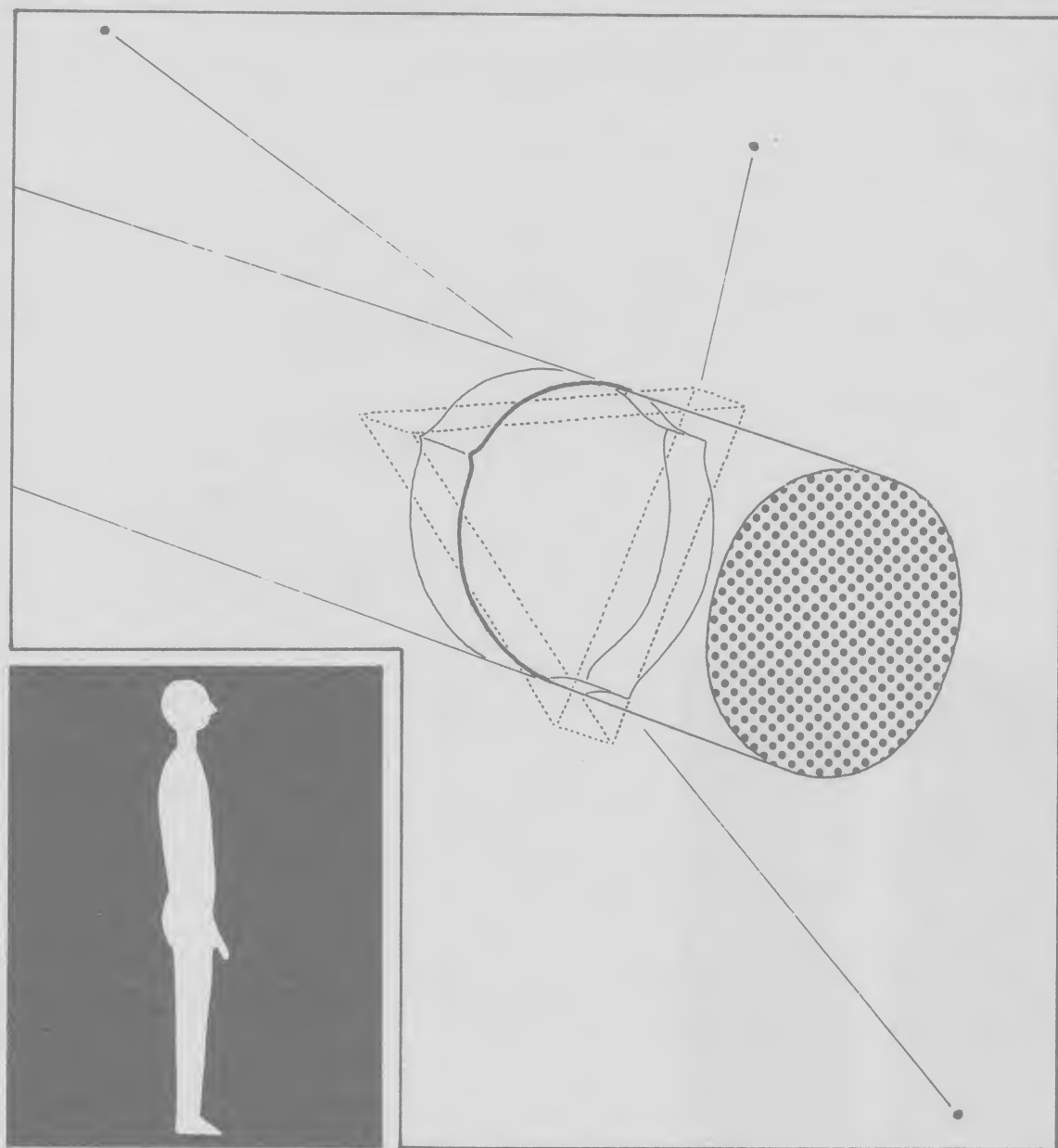
1918年大阪生れ、岩倉医科大学で  
精神医学を専攻、終戦後はアメリカに  
渡ってウィルヘルムライヒのオーゴン  
生物学の研究を補助するがオーゴン  
箱による医療行為に反対してアメリカ  
を去る。その後ウィーン精神分析診療  
所で分析医として働く一方、理論性科  
学の粒子開放説研究にあける。  
1961年、粒子開放量一定説を発表



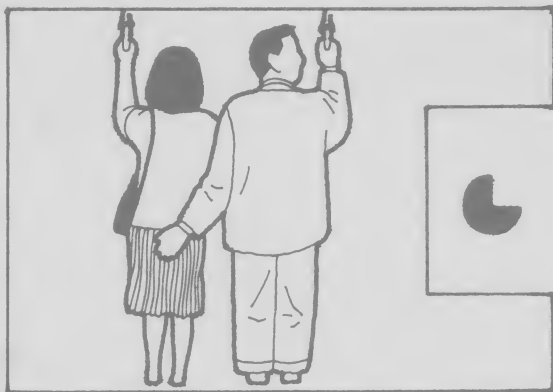
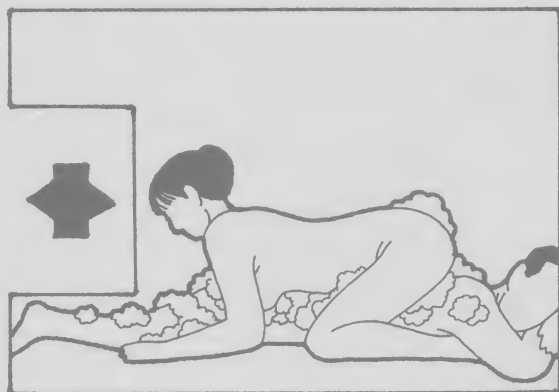
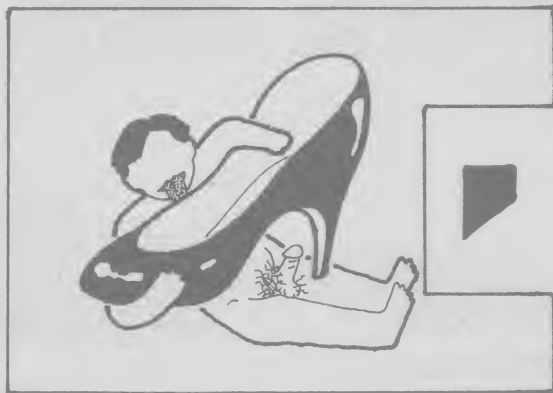
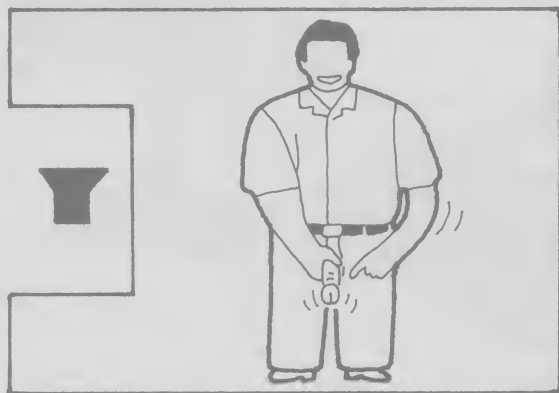
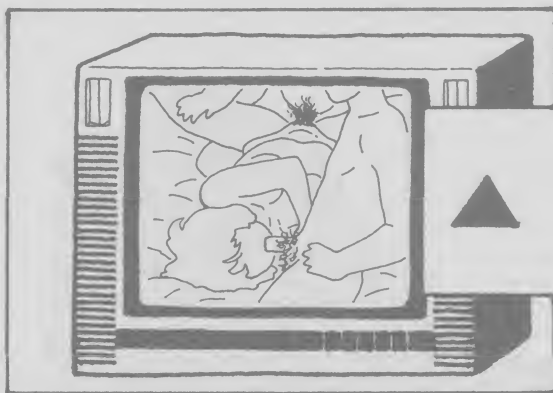
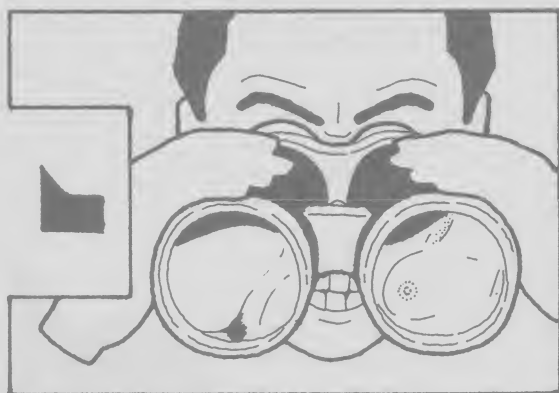
その穴の粒子が通過する時その流れによって穴が粒子の通り易いように形を変えてしまう。例えば流れの断面が円形で穴が三角であれば当然スムーズには流れない。その時に粒子が穴の端にぶつかって与える衝激が助平を感じるという事ではないかと今出川雄太郎は考えたのです。



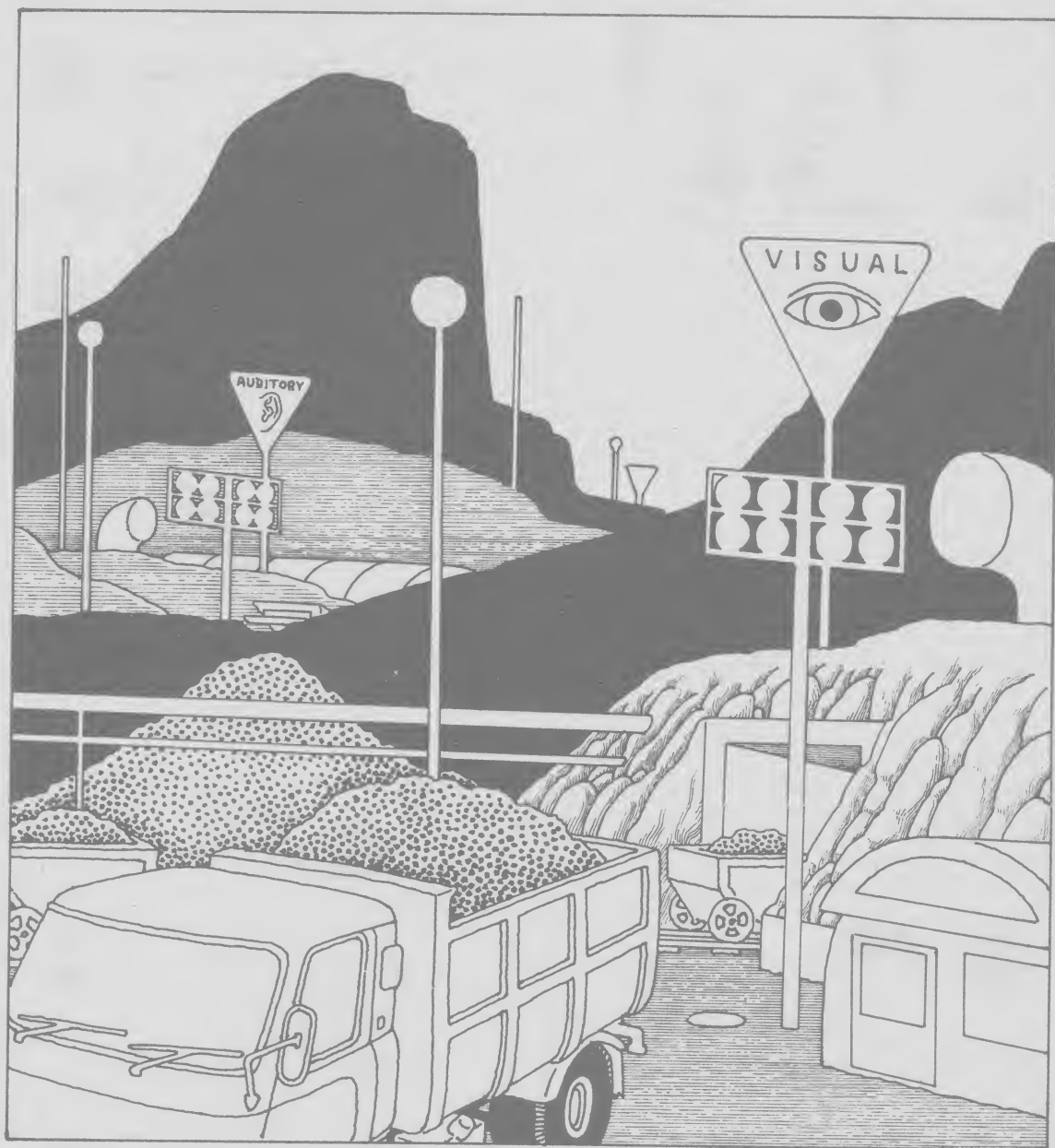
そしてヌードを見てオナニーする例で考えれば一回めより二回め、二回めより三回めの方がずっと刺激がなくなるのは、粒子が穴を通過する時にその流れによって穴が通過し易い形に変えられていつて後になるほど流れがスムーズになるからなのです。助平を感じなくなるのは粒子の開放量が減るからではなく穴が粒子を通し易く変形して衝激がなくなってくるからなのです。



ところで助平にも当然いろんなカタチがあります。ウラ本やビデオから実際に生きてる女性を対象にするもの、またその女性の持ちものをイロイロする等であつてはその違いを粒子の性質の違いで説明していましたが今出川はそれを穴の違いであると想定しています。ひとつの助平には決められた量の粒子とその場合に特有の形の穴が与えられると言うのです。

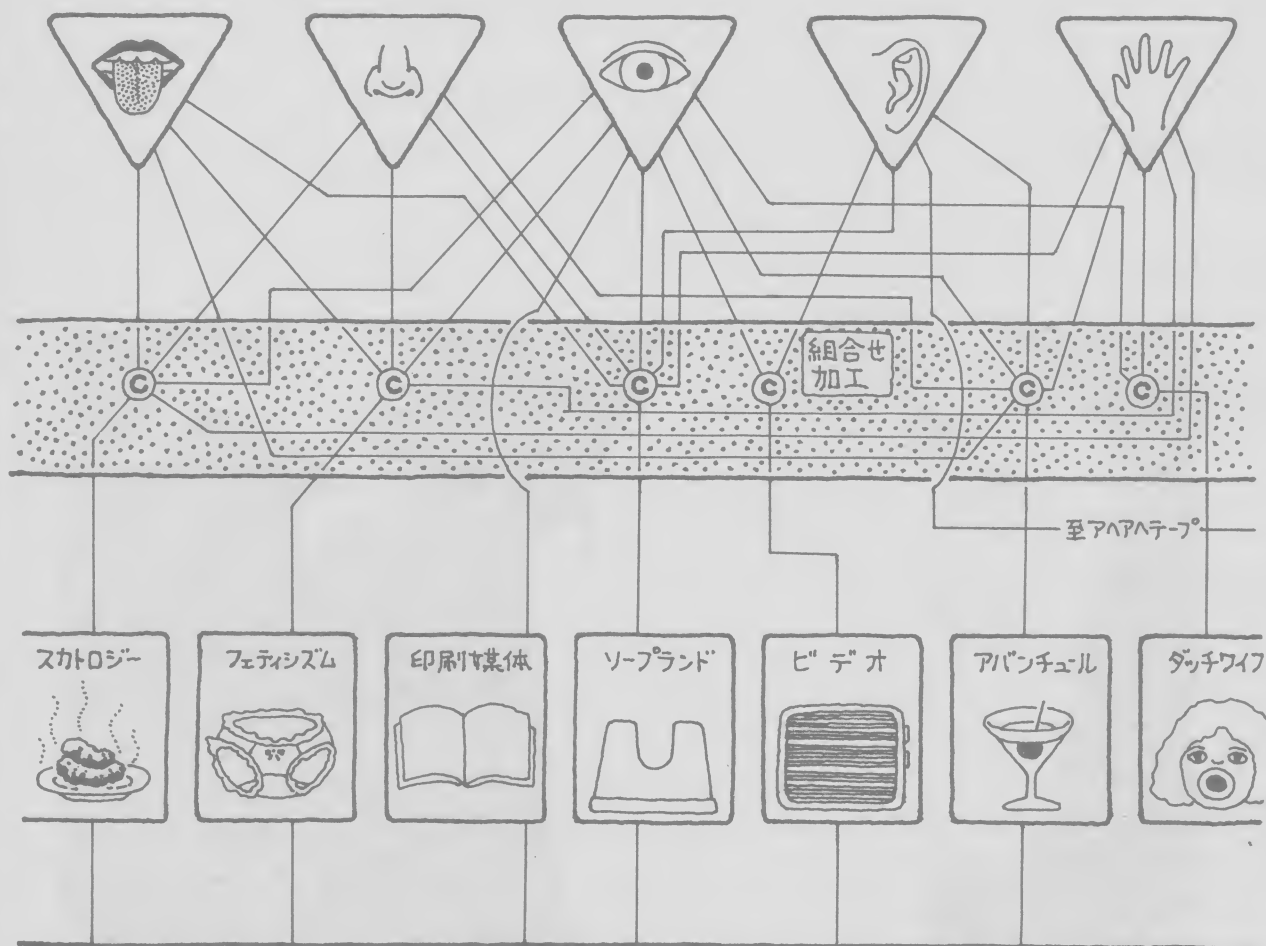


その穴は採掘場にとられ工場で加工されて粒子の放出される入口に設置されます。採掘場にとられた穴は言ってみれば原石の様なもので、それでも用途別に5種類の石があります。これは視覚や聴覚等の五感がそれぞれ原石を寝かせているからです。各採掘場からとられた巢体の原石は第一の工場で他の原石と組み合わされます。例えばビ二本の場合、空間構造としては二次元の世界を持っていますが理論性科学の分野では視覚のみの体感として一次元と考えます。ですからこの場合は最初の工場で他のエリアからとられた原石と組み合わせられることなく、二番めの工場に直行します。

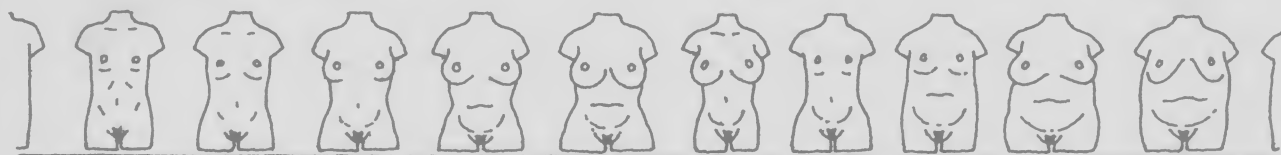


それに対しビデオの場合は視覚と聴覚の原石が組み合わせられて二次元の加工が、実物の女性とセックスする場合は五感全てのエリアからの原石を組み合わせますから（味覚の原石は非常に小さいですが）五次元の加工がなされるわけです。

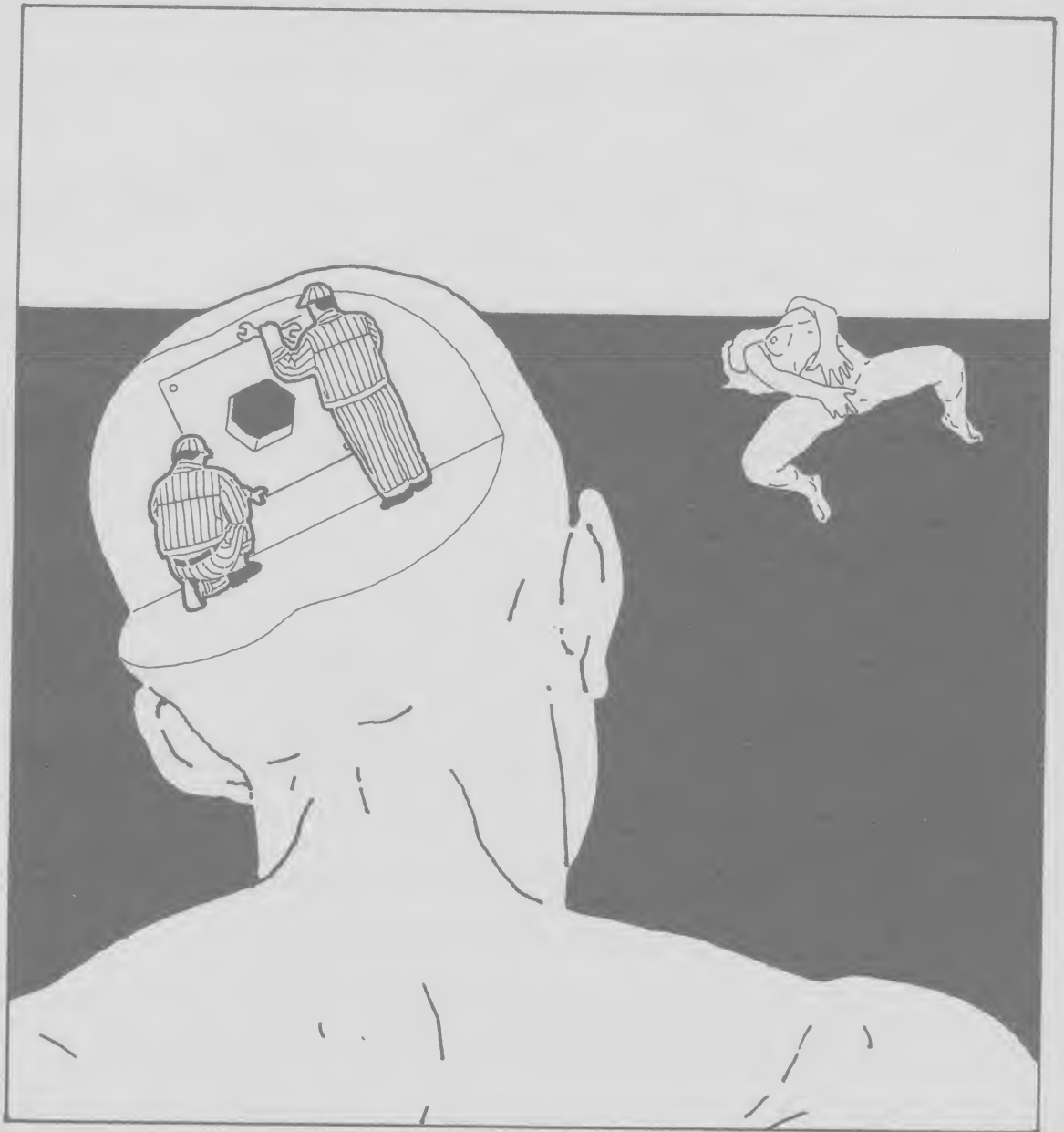
組み合わせられた石は対象の具体性をかたちづくる為に再度それぞれの専門の工場に送られます。ソーランド工場、ピンサロ工場、隣の奥さんとか友人の彼女とかの「ちょっとした知人」工場、アバンチュール工場、母親工場、女房工場、ダッチワイフ工場等で対象の立場、身分等にふさわしい穴が作られるのです。ちょっとした知人、アバンチュール工場には〇し仕様とか女子大生仕様等に分けられます。



容姿体形加工および記憶觀念仕上げ

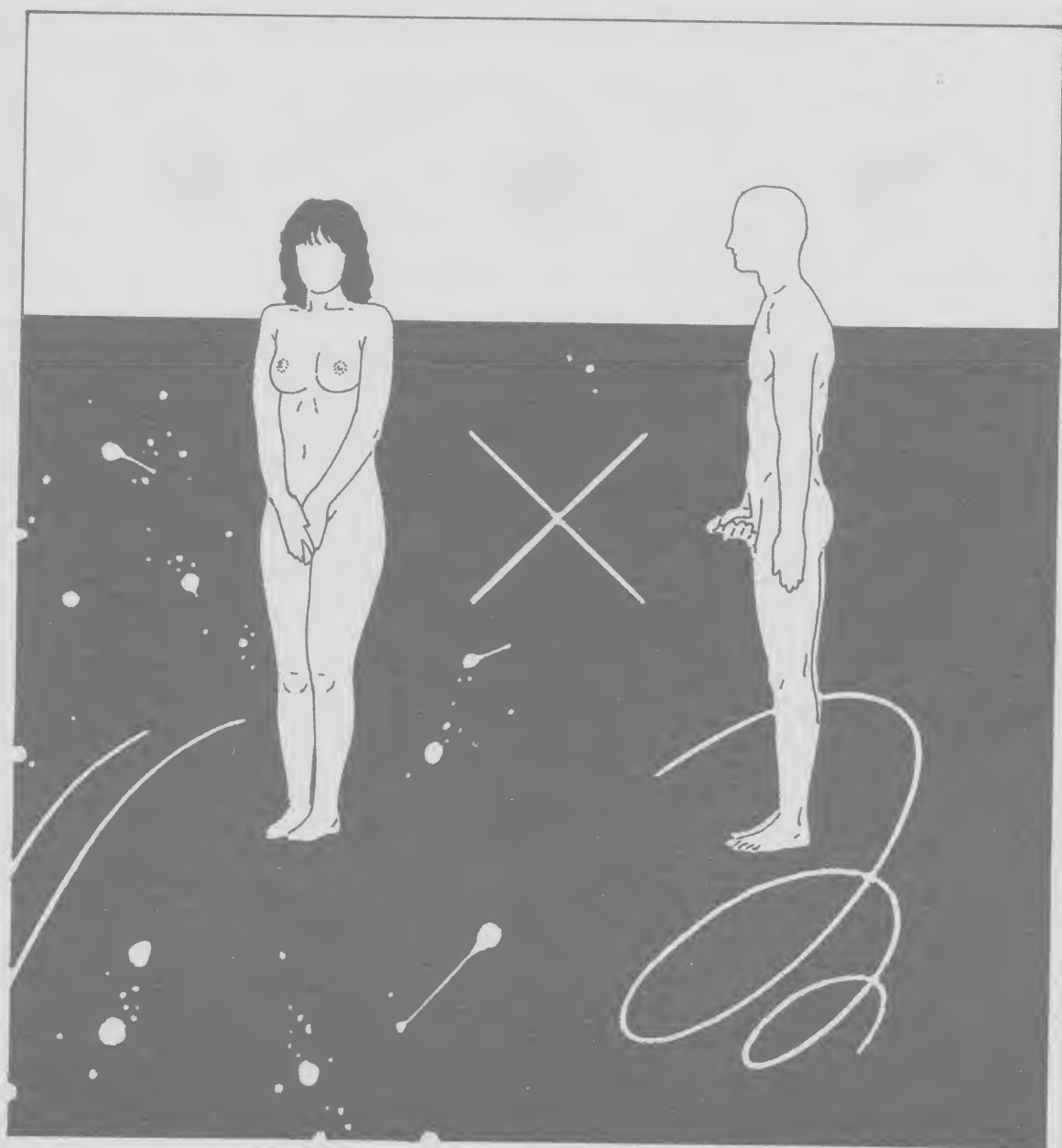


それぞれの工場で穴らしくなつた石は次に容姿、体形工場に集められます。これはピンサロ、母親、女房等、どの工場を出た穴も全てここで加工されるとゆう大工場です。容姿体形加工が済むと最後に記憶、観念仕上げがほどこされて、ようやく入口に設置されるとゆうわけです。





穴が対象に合わせて作られるの  
に対して粒子の性質は自己の行  
為によって種別されます。  
舐める、触る、見る、挿入する、  
縛る、ほり出す、自分のをしご  
く等、数え上げるとキリがない  
のですが、それをさらに組み合  
わせた形で粒子の性質が決定さ  
れますからその数は天文学的な  
量です。



ところで粒子が何度も通過する事によって変形し衝激の少くなつた穴は再度容姿体形工場に送られて衝激を補足する為の修整が加えられます。例えば性的に倦怠期を迎えた夫婦が疑似的にSMをするとか、妻にセーラー服を着せるとゆうのは、夫として妻とセックスをするとう穴にマゾ仕様（粒子をサド仕様に加工する）とか女子高生仕様の修整を加えるとゆう事なのです。でも人によっては穴や粒子が非常に硬質で修整のきかない場合もあるのです。

